

2023 年度 三次元 CAD 情報標準化専門委員会 事業計画書

2023 年 5 月 19 日

委員会名称	<p style="text-align: center;">三次元 CAD 情報標準化専門委員会 3DCAD Information Standardization Technical Committee (3D ISTEK)</p>		
委員会役員 および分科会 チーフ	<p>委員長 副委員長 幹事長 幹事 監事 分科会チーフ PJ リーダ WG リーダ</p>	<p>セイコーエプソン コニカミノルタ Q V I ジャパン エリジオン Q V I ジャパン コニカミノルタ セイコーエプソン 東芝 ニコン 日立製作所 日立製作所 東芝 DTPD 活用検討会 委員会活動見直しプロジェクト 幾何公差 WG</p>	<p>矢澤 和路 (敬称略) 稲城 正高 中村 聡 相馬 淳人 中村 聡 稲城 正高 矢澤 和路 藤沼 知久 石井 義則 生方 清美 生方 清美 藤沼 知久 稲城 正高 矢澤 和路(三役) 亀田 幸徳</p>
委員会構成 2023年4月現在	<p>正会員：14 社 ・エリジオン，Q V I ジャパン，コニカミノルタ，島津製作所，セイコーエプソン，ソニー，東芝，ニコン，浜松ホトニクス，日立製作所，富士電機，ブラザー工業，ヤマハ ・分科会不参加会員：1 社 日本電気 賛助会員：10 社 ・アルゴグラフィックス，NTT データエンジニアリングシステムズ，クリエイティブマシン，SOLIZE，ダッソーシステムズ，電通国際情報サービス，日本航空電子工業，BIPROGY(日本ユニシス)，PTC ジャパン，プラーナー</p>		
会議開催予定	<p>・総会 (1 回) 5/19 (次年度定期総会は 5/10 (金) 予定) ・幹事会 (4 回) 4/7, 7/7, 10/6, 1/12 (次年度第一回幹事会は 4/5 予定) ・戦略プロジェクト (12 回) (次年度は 4/19 (金)、5/24 (金) のみ予定) 4/14, 5/26, 6/23, 7/28, 8/25, 9/22, 10/27, 11/24, 12/22, 1/26, 2/16, 3/22 ・DTPD 活用検討会 (12 回) 開催予定は同上 ・幾何公差 WG (12 回) 開催予定は同上 ・委員会活動見直し PJ (10 回) 日程検討中</p>		
事業計画概要	<p>1. 全体概要 直近の専門委員会内外の状況を踏まえ、専門委員会活動の見直し検討に取り組むと共に、昨年追加したタスクフォース、他団体との連携、スタートアップの活動形態にて出来ることを模索して行く。</p> <p>2. 戦略プロジェクト (1) 各検討会の活動に合わせて、1 回/月の開催を目安とする。 (2) 参加者は例年通り、委員長・副委員長・幹事長・検討会チーフ・サブチーフ・プロジェクトリーダー・監事・渉外/戦略担当とし、必要に応じて会員メンバーを追加する。 (3) 各種活動間での意思決定の迅速化に努め、必要に応じて幹事会に企画案を提案する。 (4) DTPD 活用検討会と連携し、幾何公差 3DA 研修会の開催や E ラーニング利用を模索する。</p>		

	<p>3. DTPD 活用検討会</p> <p>三次元データの業務での活用を念頭に、具体的なアイテムについて必要なルール・技術検討を行い、技術レポートとしてまとめ、本来の目的である三次元 CAD データ・DTPD 活用の効果を検証して行く活動を、関連団体の協力を得て実施する。</p> <p>(1) データ・DTPD 交換の課題を明確にし、効率化につながる提案に結びつける。</p> <p>三次元 CAD データ・DTPD を実際に活用するユーザーと連携。</p> <p>(2) 3DA モデル・DTPD への設計情報の入れ込み</p> <p>前年に実施した JEITA 普通幾何公差などの設計情報を semantic に渡すために策定した標準フォーマットの実証結果に基づき、フォローアップを行う。</p> <p>(3) 幾何公差 WG</p> <p>ET-5102A は、ISO/ASME の最新動向を入手しながら、課題内容を明確にし、JIS B 0021 改正版開発へつなげる。本年度も、専門委員会会員を対象に幾何公差研修会の開催を検討する。</p> <p>4. 専門委員会活動見直し</p> <p>現在の専門委員会が置かれている状況を、内部・外部団体との関係を含めて、会員各社に説明を実施する。説明会を受けて、会員各社に専門委員会への関わり方、活動内容の要望をヒアリング、結果をまとめ、今後の専門委員会の体制・活動内容検討につなげる。</p> <p>(1) 専門委員会活動見直しの進め方を検討、戦略プロジェクトメンバーを中心に内容を審議、7 月の幹事会に提案する。</p> <p>(2) 幹事会での承認後、現在の専門委員会が置かれている状況と、会員各社に考えていただきたい事項について説明会を実施する。可能であれば、リアル開催 1 回と、オンライン開催 2 回を実施する。</p> <p>(3) 説明会后、会員各社に専門委員会への関わり方、活動内容の要望をヒアリングし、結果をまとめ、1 月の幹事会に報告する。</p> <p>(4) 幹事会での議論をベースに、新活動内容及び体制について、戦略プロジェクトメンバーを中心に検討を行い、2024 年の総会での提案に結びつける。</p>
特記事項	なし